

# 企業開拓について －若者就労ネットワーク

NPO法人わかもの就労ネットワーク  
佐藤洋作（NPO法人文化学習協同ネットワーク）

# 若者と企業をつなぐしくみづくり

- 働きたいけど働けないでいる若者と若者を受け入れたいけど受け入れる不安のある企業をつなげる仕組み
- ⇒ 仕事経験の不足やひきこもり経験により能力や対人関係に自信のない若者をゆるやかに仕事の現場につなげるための就労支援モデルづくりへ
- • • • 若者支援機関と中小企業経営者との連携事業

# 働けないでいる若者たちのつまづき

- ① 学校段階で友達関係や学業でつまづき、不登校になった若者
- ② 高校時代にますます事態はきつくなり、とうとう中退してひきこもった若者
- ③ 高校卒業資格を取り専門学校や大学にすすむも、エネルギーを枯渇させ仕事の世界に入っていけない若者
- ④ 就労しても、厳しい労働環境から早々に離職せざる得なかった若者
- ⑤ 発達障害や精神疾患を抱え学校から社会への移行を達成できない若者

# 立ちすくみ、ひきこもる若者たち

## ● ニートとは

教育、労働、職業訓練のいずれにも参加していない若年無業者の状態を指した造語。NEET=Not in Education, Employment or Training

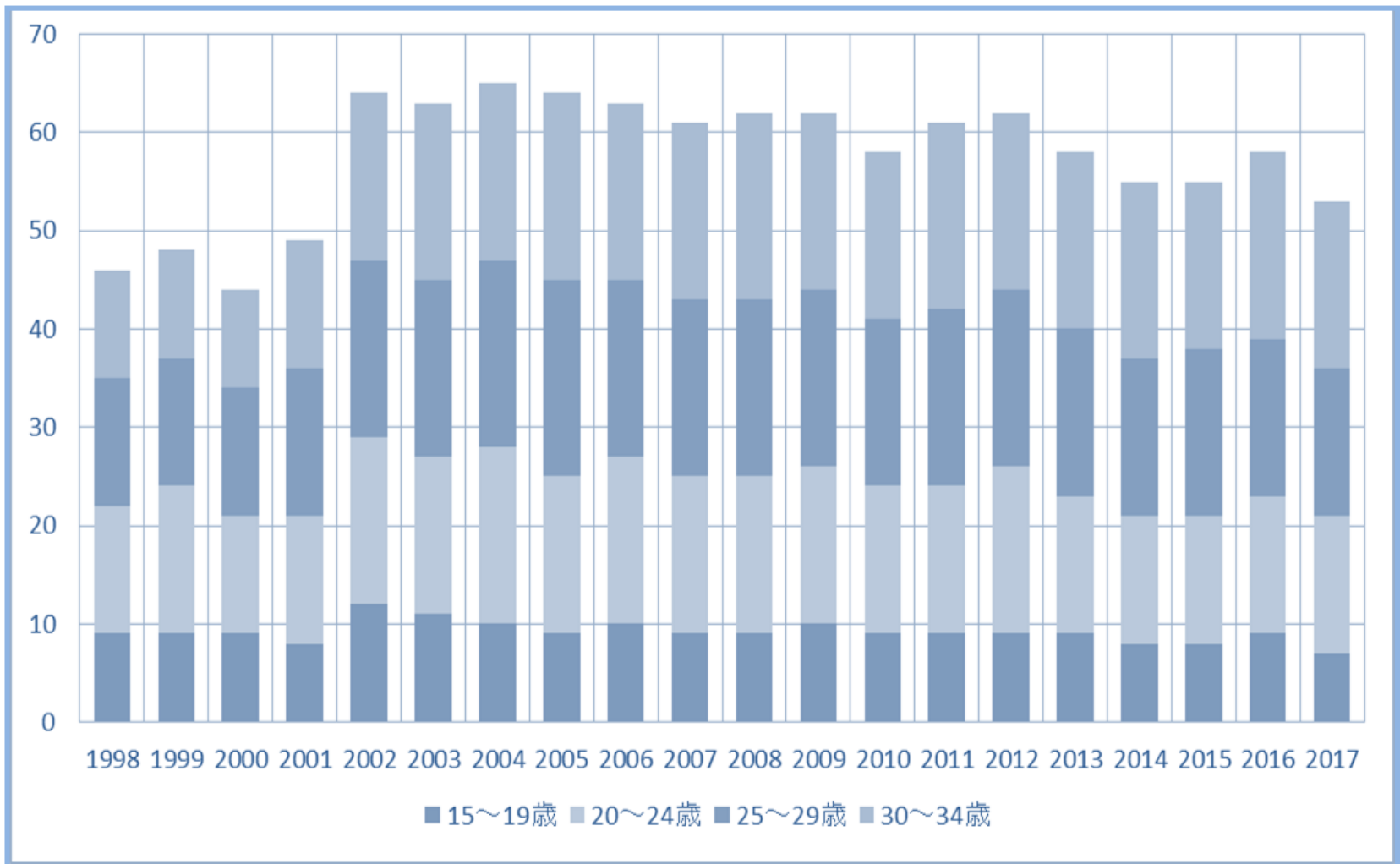
…15~34歳の非労働力人口のうち、「ニート」人数は2016年度15歳~39歳で約77万人、34歳までで約57万人と推定。

## ● ひきこもりとは

6か月以上自宅にひきこもって社会参加をしない状態が続き、ほかの精神障害がその第一の原因とは考えにくい若者の状態像。

… 狭義のひきこもり23.6万人、準ひきこもり46.0万人、広義のひきこもり69.6万人（2010年内閣府「若者の意識に関する調査」）。2015年は54.1万人だが「長期・高齢化」。2018年、40~64歳、61.3万人。

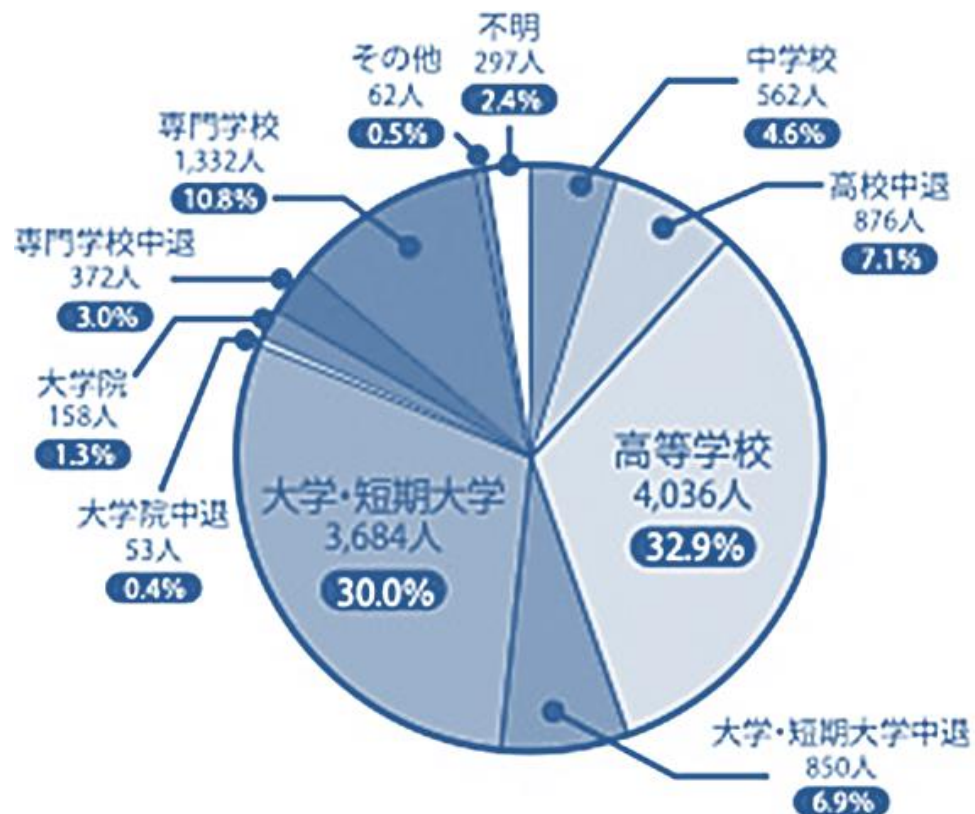
# 日本におけるニート状態の若者の推移



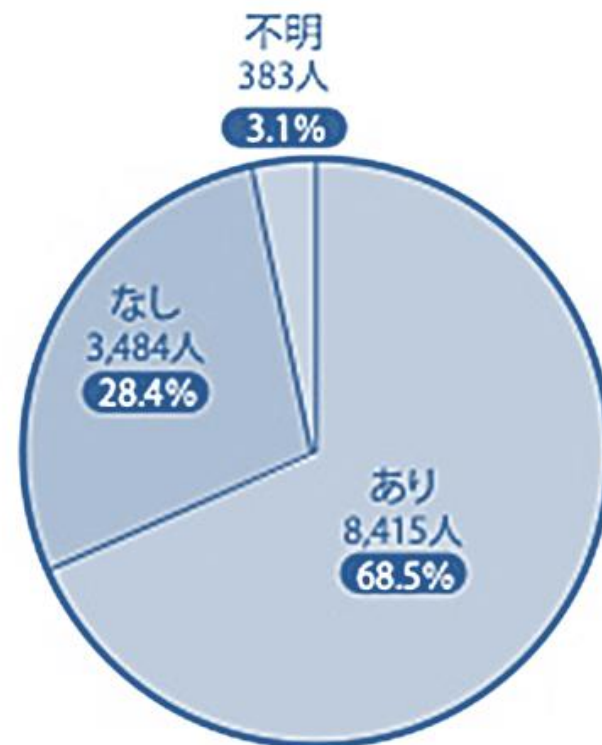
\*日本における「ニート」（若年無業者）の算出方法は、総務省労働力調査に基づいており、そのうち、15～34歳の非労働力人口の中から学生と専業主婦を除き、求職活動に至っていない者で失業者（約150万人）は含まれていない。

# 若者支援機関を利用する若者たち

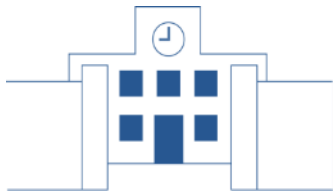
## ◆ 学歴



## ◆ 就職経験



# 中間的な働き方 ～仕事へつなげる仕事体験



学校

働きながら学び  
学びながら働く

- ・ 相談
- ・ 生活習慣
- ・ 仕事体験
- ・ 学び直し
- ・ 資格取得
- ・ 技能訓練
- ・ 仕事探し

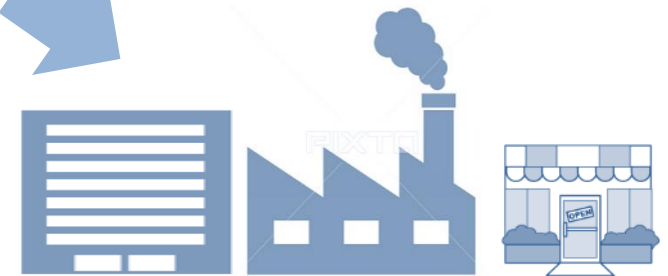


中間的な働き方

働きにくさの克服

- ・ どんな仕事があるのか
- ・ 失敗しないか不安  
(失敗してしまった)
- ・ 質問できない
- ・ 迷惑かけられない

仕事の世界  
一般的労働市場



# 中小企業家同友会との連携

## 再チャレンジする若者と 職場をつないで四〇年



佐藤 洋作 氏  
NPO法人文化学術協同ネットワーク  
代表理事・三多摩支部

ひきこもりや働けない若者、再チャレンジする若者(四〇年間の間に)き合ってきた佐藤洋作氏、「若者支援に悩んでいた経験」「若者を取り囲む環境変化」「つまづいたとき」や「なりあがる仕組みづくりの経験」などについて、これまでの経験・実践の事例を踏まえて語る。

私は二多摩支部(自派)同友会には〇年前に入会しました。同友会の若者には、若者の体験の場を提供してもらったり、就労の機会を身をもってもらっています。今日は同友会の「目」として、どういう形で若者を社会につなげていけるのかを相談させていた方がたくさんいて、私をきかせていただきました。

若者たちが生きたい社会  
若者はスマートフォンで知りあがり、

その中で、東京同友会の中でも、若者たちの体験実習を受け入れて、その体験から、「よく働くではないか」とアルバイト雇用していたことがあります。

昨年、就業に結びついた若者が七、八人います。働きぶりや真面目さを評価していただき、履歴書・面接・採用ではないルートが、もう一度やり直そうとする若者には合っているのではと現場としての実感を持っています。

サポートステーションは、練馬区春日町にあります。ぜひ来て、若者たちとお話していただきたいと思っています。

(広報部 桜井道子)

### 感想

### 同友会でこそできる連携



田崎 修司  
(公財)練馬区障害者就労促進協会  
練馬支部

若者支援に取り組む佐藤洋作氏の報告をつうじて、練馬支部会員と共催の障害者委員のメンバーが共に学びました。要領のよい者でないとは活躍の出番が得られない時代、自己肯定感を持ってない若者が働く喜びや自己表現の場を得て移行していくその支

### 必ずプラスになる



中西 豊行  
(株)ナカニシ・練馬支部

援は、同友会でこそ連携できる実践であること、同時に自社にある身近な問題の解決の糸口に触れることができた、共催ならではの共感の機会でした。

再チャレンジする若者と職場をつないで四〇年。報告者、佐藤さんのお話のテーマ、



中小企業家同友会全国協議会(中同協)は、全国都道府県の中小企業家同友会による協議体です。

### 加盟企業数

全国会員	47,022	企業
東京会員	2,200	企業



# 仕事体験から就労へ

## 受け入れ企業ネットワークとの協同 若者と企業をつなぐ中間支援（NPO）づくり

**地域若者  
サポート  
ステーション**

若者の誘導/  
面談による個別  
フォロー

**若者就労支援ネッ  
トワーク（NPO）**

就労訓練受け入れ企業  
開発  
実習コーディネート  
企業ネットワーク  
調査・研究

**企業ネットワーク**

企業家団体との  
連携による多様  
な職場体験やアル  
バイトから就労へ



# 受け入れ企業も安心 4つの特徴

- ① 地域の若者支援機関と連携
- ② コーディネーターがサポート
- ③ 緊密なサポート体制
- ④ 企業間のネットワーク

# 就労準備体験から就労へ ～仕事体験の機能

- ①働きながら学ぶ機会を通して、働く自信を  
獲得していくことのできる学習機能を持った働き場
- ②ボランティア的、研修的な性格を帯びた働  
き方を通し、本格的な労働市場への移行を  
支援する中間的な働き場

# 仕事体験の条件

- ① 若者本人の選択と参加決定
- ② 本人と受け入れ企業と支援者の三者による内容確認
- ③ 部分的・周辺の仕事からのスモールステップ
- ④ 個人的参加からチームでの仕事へ
- ⑤ その日の体験を確かめる振り返り

# 仕事体験から就労まで

- ① 若者の支援機関もしくはは就労支援ネットから見学・職場体験の打診
- ② 就労支援員との打ち合わせ
- ③ 若者本人を交えた面談
- ④ 環境設定
- ⑤ 実習開始
- ⑥ 実習終了
- ⑦ 職場・仕事との相性が良い場合、トライアル雇用、アルバイト、正社員と進む

# いろいろな仕事体験

～孤立を超えて、仕事に出会うことを通して、働ける、働きたい自分に出会うことができる

体験受け入れ企業はおよそ60社、体験業種・職種はおよそ40種類



# 若者が働きつづけられる良い働き方

- ① 自分たちがやりたい、やれる仕事  
(内発的動機)
- ② 話し合いと学び合いによる仕事の創造と革新  
(フラットな関係性) (質の高い仕事)
- ③ 仕事を通じた社会との出会い・社会への参加  
問いかけ (社会性・公共性)



# 仕事体験の場としてのパン屋



- スモールステップから
- 失敗と質問からの学び
- 時間をかけた振り返り





# 良い働き方づくりへの挑戦

## 良い働き方の追求から仕事づくりへ

- ①ユニバーサル就労
- ②若者統合型ソーシャルファーム

